

(様式5 実施結果の公表)

桜川市立小中学校適正配置基本計画（案）
のパブリックコメントの実施結果

平成 26 年 8 月 1 日

桜川市教育委員会学校教育課

■意見集計結果

平成25年 8月 1日から 8月31日までの間、「桜川市立小中学校適正配置基本計画（案）」について、意見募集を行なった結果、6人の方から6件の意見の提出がありました。

これらの意見について、適宜要約した上、項目ごとに整理し、それに対する市の考えをまとめましたので公表します。

提出方法の人数は、以下のとおりです。

提出方法	人数
直接持参	4人
郵便	1人
電子メール	1人
ファクシミリ	人
その他	人
合計	6人

■意見の概要及び意見に対する市の考え方

該当箇所	意見概要	市の考え方
1. 適正規模 2. 適正配置の手法	<p>(1)対象予定校の統廃合反対。現状維持を望む。</p> <p>(2)統廃合ありきの計画に反対。小規模校の良さアピールすべき。統廃合当事者地域の住民から意見を求めるべき。</p> <p>(3)地域のシンボルである小学校の廃校反対</p> <p>(4)教育目標達成のための計画が見えず、統合ありき、予算セーブのご都合主義にしか見えない。</p>	<p>それぞれの学校には、長年にわたる歴史と伝統があり、その学校がなくなるということは、地域の皆様や卒業生に複雑な思いがあるものと考えておりますが、全国的に少子化が進行していくなか市教育委員会としましても、子供たちの教育環境をより良くするために学校の再編が必要と考えたところであります。</p> <p>子供たちのより良い教育環境の充実を図るために、関係する保護者や地域の皆様方と十分な協議を行ってまいります。</p>
1. 適正規模	<p>(1)たくさんの友達の間で揉まれ、競争心を育てながら成長できる教育環境を望む。</p> <p>(2)複式学級、登校班、クラス替えなどの少人数校の弊害を</p>	<p>学校が小規模化すると、クラス替えができない、大きな集団での活動や、固定化された人間関係の中で、競い合う心や社会性を身につけることが難しいことなど、様々な課題が生じてきています。</p> <p>その改善を求められる保護者の思いに、市</p>

	解消し、集団の中で様々なことを学ぶ環境をつくってあげたい。	としてのより良い教育環境を維持するための基準と考えております。関係する保護者や地域の皆様方と十分な協議をしながら取り組んでまいります。
--	-------------------------------	---------------------------------------------------------------------